

神戸市の学校づくりの指針

人がつながり ともに創る みんなの学校

これからの時代において、複雑化・多様化する教育課題に適切に対応し、一人ひとりの子供に寄り添った質の高い教育を提供するためには、学校、保護者、地域の皆様、それぞれが多様な知識や経験を持ち寄り、地域全体で子供たちの学びや成長を支えていく必要があります。本市では、学校づくりの指針として「人がつながり

ともに創る みんなの学校」を定め、子供たちを中心に据えて、保護者、地域の皆様と連帯感をもって教育活動に取り組む学校づくりを進めています。学校づくりの指針のもと、人と人とのつながりの輪の中で子供たちの生きる力を育てていくよう、取組みをさらに推進していきます。

KOBE◆KATSUの推進 中学校部活動の地域移行

- 将来に渡って子供たちが多様な活動に参加できる機会を確保するため、2026年度中に部活動を終了し、生徒が地域の方々とともに活動する「KOBE◆KATSU(コベカツ)」の開始に向けて取組を推進



ICTの利活用

- 個別最適な学びと協働的な学びの充実を図り、主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業改善の促進
- 「子供が主役のこれからの学び」につながる教員のICTスキル向上研修の充実
- 神戸市の教員専用ポータルサイト「KOBEX」による指導案や教材データベースの提供(学習用パソコンの活用方法等を含む)
- Microsoft Teamsを用いた教育実践研修グループでの情報共有



学年(チーム)担任制の推進

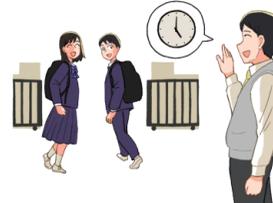
- 小・中学校及び義務教育学校を対象に、学級における児童生徒の指導等の業務を複数の教員で分担する「学年(チーム)担任制」を積極的に推進

【令和7年度:50校予定(令和6年度:モデル実施9校)】



令和の時代における「学校の業務と活動」

- 授業時間数の適正化(小学校:標準授業時数+40、中学校:標準授業時数+30)
- 1日の学校生活の時間の見直し(中学校は17時完全下校を推進)
- 保護者負担を考慮し、希望制による家庭訪問を実施



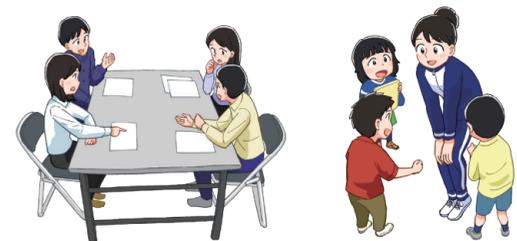
不登校等の児童生徒に対する支援

- 全小中学校において、自分の学級に入りづらい児童生徒のための「校内サポートルーム」を整備し、支援員を配置
- 登校が難しい中学生を対象に、授業時数を低減するなど独自の教育課程を編成できる学びの多様化学校「みらいポート」を開校



充実した研修(採用前・採用後)

- 採用前には採用前研修、採用後にも1年次の初任者研修、2年次・3年次にはフォローアップ研修を行うなど充実した研修を実施
(研修実績)
採用前研修⇒学級づくり、授業づくりなど
初任者研修⇒学習指導、生徒指導など
2・3年次フォローアップ研修⇒研究授業など



2026年度採用選考 主な変更ポイント

- ① 選考区分の改正
 - 「特別支援学校キャリアチェンジ特別選考」の新設
 - 「臨時的任用教員継続勤務者区分」の新設
 - 「現職教員区分」の試験内容の見直し
 - 「離職者を対象とした特別選考」の出願要件の拡大
- ② 加点制度の見直し
 - 学生スクールサポーター・幼稚園学生ボランティア 特別支援教育ボランティアへの加点
 - 大学3年生等早期チャレンジ選考第1区分合格者への加点
- ③ 大学等推薦区分の改正(対象となる選考区分(中高英語)の追加)



採用スケジュール

出願期間	4月9日(水) - 5月9日(金)
↓	
適性検査	6月6日(金) - 6月13日(金)
↓	
第1次選考 筆記試験	6月14日(土)
集団面接試験	6月27日(金) - 28日(土)
↓	
第1次選考結果発表	7月中旬
↓	
第2次選考 実技試験	7月19日(土) - 8月17日(日)
個人面接試験	7月28日(月) - 8月9日(土)
↓	
最終結果発表	9月中旬頃
↓	
採用前研修	2026年2~3月頃
↓	
採用	2026年4月1日予定

神戸市の教員・学校園

校種	教員数	校園数
小学校	5,319	162 分校1舎
中学校	2,754	84 分校4舎
義務教育学校	105	2
高等学校	728 定時制191名舎	8 定時制3舎
幼稚園	134	28
特別支援学校	827	6
合計	9,867	290

(教員数は2024年5月、校園数は2025年4月の数値)

神戸市教員の初任給等

校種	大学院修了(修士)	大学卒	短大卒
小・中学校	311,788	293,916	273,232
高等学校	315,732	295,863	-
幼稚園	300,154	279,803	258,054
特別支援学校	324,108	306,236	284,955

※2024年度給与ベース。ただし、給与改定される場合があります。
※初任給等は、給料、教職調整額、地域手当、教員特別手当等の合計額(月額)です。
※その他、期末勤勉手当、通勤手当、扶養手当、住宅手当等が支給されます。

神戸市教育委員会事務局教職員人事課(任用担当)

〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1丁目3番3号
神戸ハーバーランドセンタービル ハーバーセンター4階
TEL (078)984-0636 FAX (078)984-0650

2025年4月発行 神戸市教育委員会事務局教職員人事課



採用HP

神戸市教員採用 検索



神戸で先生になる。



2026年度(2025年度実施)

神戸市教員採用 選考案内

出願受付期間(電子申請)

2025年
4月9日(水)~5月9日(金)

これからの神戸の学び



学校は、子供たちが、多くの仲間や大人と出会い、いろいろな経験を通じ、成長する場
自分らしさを大事にしつつ、仲間を大切に、人とつながる楽しさを実感する場
それぞれの学びの中から、興味や関心を深め、夢を育む場
自他を大切に、自ら考え、未来をつくる力を育む、子供たちが主役の「行きたくなる学校」をつくっていきます
これからの「神戸の学び」をともに進めていきたいと思います。

神戸市の目指す人間像

心豊かに たくましく生きる人間

次代を担う子供が、よりよい社会と幸福な人生を自らつくり出していくためには、自他を尊重し、互いに知恵を出し合って困難な課題を解決していくことが重要です。
神戸の教育を通して、確かな学力、健康・体力とともに、様々な体験を通して豊かな心を養い、自ら目標にむかってたくましく生きる人間の育成を目指していきます。

神戸市の教育ビジョン

自他を大切に 自ら考え 未来をつくる

- 基本政策① 子供が主役のこれからの学び
- 基本政策② 一人ひとりに応じたきめ細やかな支援
- 基本政策③ 安全・安心で過ごしやすい環境づくり
- 基本政策④ 子供に向き合い寄り添える学校づくり
- 基本政策⑤ 地域とともに作る開かれた学校

神戸市の求める人物像

豊かな人間性にあふれ、子供に寄り添うことができる人

子供に対する深い愛情と思いやりを持ち、いかなる困難にあっても子供の笑顔と成長につながる選択をできる人を、私たちは求めています。

自律心を備え、多様性を尊重し、協調・協働できる人

常に高い倫理観と規範意識に基づいて行動するとともに、多様な他者との対話やつながりを深め、互いを理解し尊重しながら、協調・協働できる人を、私たちは求めています。

自らの資質・能力向上のため、学び続けることができる人

時代の変化とともに学校教育に求められる役割や課題が多様化するなか、自己研鑽のために努力し続けることができる人を、私たちは求めています。



先輩たちからの

Message

神戸市立学校園の各校種で活躍する先輩教員が、教員をめざしたきっかけや日々の心掛け、そして働くなかで感じていることなどについてお伝えします。

Q1 やりがいを感じる時はどんなときですか。

Q2 日々心掛けていることはどんなことですか。

Q3 今後どのような教員になりたいですか。

1 体調不良やケガで保健室を利用した生徒が、「元気になりました!」と笑顔で報告してくれるときです。自分の対応が生徒たちの元気につながっているのだと実感し、とてもやりがいを感じます。

2 生徒の口から出る言葉を「待つ」ことです。生徒たちには自分で考えて行動できるようになってほしいです。

3 誰からでも気軽に頼ってもらい寄り添うことができる教員を目指しています。そのため、日頃のコミュニケーションや学び続ける姿勢を大切にしていきたいです。



2024年度採用 養護教諭区分

井関 優希



森 千寛

2024年度採用 幼稚園教諭区分

1 子供の笑顔が一番近くで見守り、保護者の方と子供たちの成長を共に喜ぶことが出来たときです。子供の成長をすぐそばで感じ、笑顔が見られることは幼稚園教諭をしているからこそ感じられる喜びだと感じます。

2 子供たちの小さなつぶやきや思い、子供同士のかわいい会話を逃さないようにし、子供の世界と一緒に楽しんでいけるよう、日々心掛けています。

3 子供たち一人ひとりの思いに寄り添い、豊かな表現を大切に、「楽しい!」「幼稚園に行きたい!」と思える毎日を作っている教員になりたいです。

大塚 陽日



2024年度採用 中学校・高等学校教諭区分(商業)

1 生徒が学校に来て、自分のクラスで一日を過ごせていることです。

2 なるべく感情を左右させないことです。無意識のうちに、「怒」や「怠」が出てしまうことがあるため、自分の感情を一定にできるように物事の考え方や見方を変える努力をしています。

3 口で言うだけではなく行動で示せる教員になりたいです。また表面だけ取り繕うではなく、素の自分を大切に生徒達と関わっていきたいです。

- 1 生徒との何気ない関わりの部分です。生徒の価値観や悩みに触れることができたとき、それを見守りつつサポート出来ることに、やりがいを感じます。
- 2 「模範」を示すことです。学校生活の中で、何気なく行う言動や所作をより丁寧に行うようにし、一人の大人としてあるべき姿を見せられるように心掛けています。
- 3 教員には「授業力」が求められると考えるため、生徒が前向きに取り組むことができ、保健体育が苦手な生徒でも楽しめるような授業を行える教員になりたいです。

横井 克海



2024年度採用 中学校・高等学校教諭区分(保健体育)

鈴木 孝輔



2024年度採用 特別支援学校教諭区分(小学校)

1 自身の生徒への働きかけがきっかけで、その生徒が新しい気づきを得たことです。生徒に質問された時に答えを言うのではなく、「先生に教えて!」と自分で考えるよう働きかけたことで、自分で調べて教えにきてくれました。

2 日々、自分が生徒にしている支援が本当にその生徒にとって必要なことなのかを考えるようにしています。

3 学び続けられる教員でありたいです。現状に満足することなく、周りの先生方からたくさん吸収して、自身のスキルアップに努めていきたいです。

岡田 菜々



2024年度採用 栄養教諭区分

1 給食室で普段行う調理や洗浄の疑似体験を行う「給食室探検」を実施したことです。子供たちからも「給食を作る人の気持ちが分かった!」と言われ、残食も減り、嬉しかったです。

2 「子供」がわくわくするか、「子供」が笑顔になるか、「子供」が美味しいと感じるかなど、子供を主語にして考え、行動するようにしています。

3 おいしい給食を教材として、子供たちの食の興味を引き出し、食の大切さや食事の楽しさを伝えられる栄養教諭になりたいです。

岡村 まれい



2024年度採用 小学校教諭英語コース区分

1 子供たちの成長を感じられるときです。勉強に苦手意識を持っていた児童に対して、宿題ノートに花丸やメッセージを書いていました。段々と学習に対して丁寧に取り組むことができるようになり、サポートし続けてきて良かったと思いました。

2 子供たちの素敵などころに目を向け、前向きな声掛けをすること・私自身が笑顔でいること・子供たちとたくさんコミュニケーションを取ることです。

3 子供たちの気持ちに寄り添いながら、子供たちが自分に自信を持ち、成長できるような環境をつくる教員になりたいです。